

さらに「安心」「信頼」して いただくために

vol.3 列車ダイヤの見直し

当社では、3月18日、アーバンネットワークを中心とした全社的なダイヤ改正を実施いたしました。

「安全性向上計画」に定めた列車ダイヤの見直しの考え方に基づいて、さらなる安定輸送を行えるよう、駅間の運転時分、駅での停車時分などを見直しました。



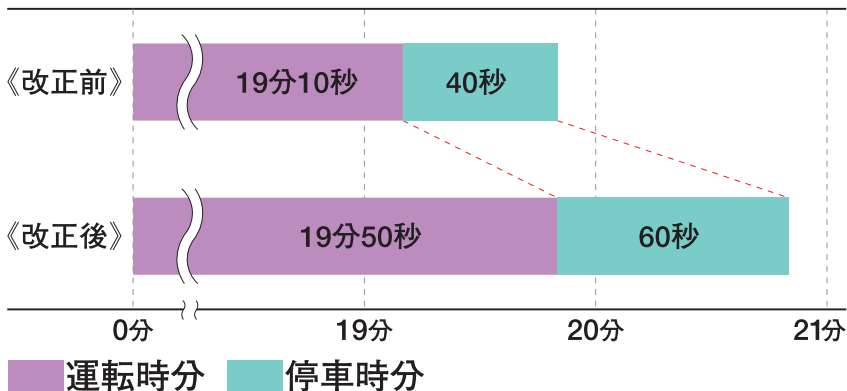
ダイヤ改正の内容

- ・ご利用実態を踏まえた停車時分の見直し
- ・主要ターミナル駅において、乗り継ぎなどの利便性を考慮した停車時分の設定
- ・主な接続駅などの手前の区間において、余裕を考慮した運転時分の設定

例えば、アーバンネットワークの新快速では、三ノ宮～大阪間の所要時分を19分から20分(デertime)といたしました。

これにより、お客様の乗降にも余裕ができ、より「安心」してご利用いただけるものになったと考えております。

■新快速(三ノ宮～大阪間)の所要時分<デertime>



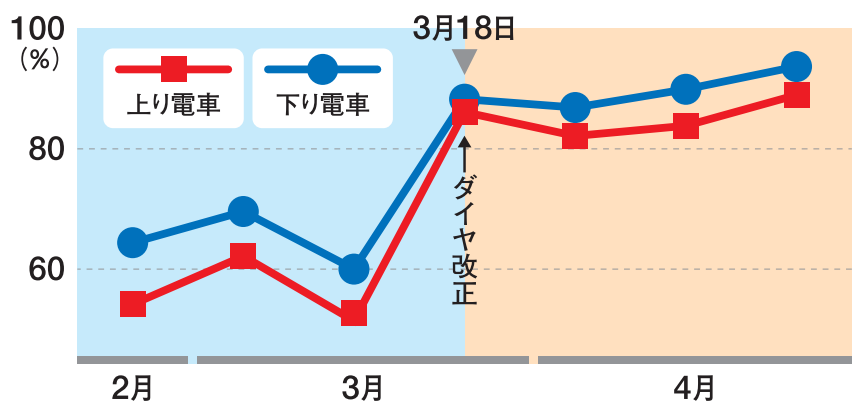
※停車時分は、芦屋駅・尼崎駅の停車時分の合計

ダイヤ改正後の状況

新快速は、ダイヤ改正前までは定時運転率^(※)が6割程度と遅れが目立っていましたが、改正後はほぼダイヤどおりに運行いたしております。

※定時運転率:定時(1分未満の遅れ)で運転した列車の全列車に占める割合。

■主要駅における新快速の定時運転率



お客様からは、定時性が高まり安心できるダイヤになったというご意見をはじめ、列車の接続の改善など、さまざまなご要望をいただいております。引き続き、こういったご意見・ご要望をうかがい、よりよいダイヤづくりに努めてまいります。